

授業科目 老年看護学実習III

【担当教員名】		対象学年	3	対象学科	看護
袖山 悦子 他		開講時期	後期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	45
【概要・一般目標：G10】 認知障害をもつ高齢者の日常生活援助の実践を通し、QOLの向上を図るための看護がわかる。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 認知障害をもつ高齢者とその日常生活上の障害について理解する。 2. 認知障害をもつ高齢者の日常生活援助の実践を通しQOLの向上の看護がわかる。 3. 高齢者の権利擁護、倫理的課題について考察できる。 4. 高齢者を介護するために家族が必要としている支援について理解する。 5. 高齢者と家族を取り巻くケアシステムを把握し、その中での看護の役割と機能について理解する。					
回数	授業計画・学習の主題		SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員	
1 2 3 4 5	1. 学内オリエンテーション 2. 施設オリエンテーション 3. 実習(1週間) 認知障害を持つ高齢者の日常生活援助の実践を見学する。 4. 実習記録に必要な事項を整理する。 5. 実習のまとめ グループホーム実習(1週間) 実習は各グループからさらに2人程度の編成で実習する		1～5	各実習グループを編成しグループホームで実習を行う 老年看護学教員全員	
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		老年看護技術 ―アセスメントのポイントとその根拠―	奥野茂代、大西和子 編集	ヌーベル ヒロカワ	2,100円＋税
参考書		老年看護学 ―概論と看護の実践―	奥野茂代、大西和子 編集	ヌーベル ヒロカワ	3,900円＋税
その他の資料		老年看護学実習要項			
【評価方法】 出席状況20% 実習目標・内容到達状況60% 記録類20%			【履修上の留意点】		